News Release

The New Color of Money
Safer. Smarter. More Secure.

www.moneyfactory.com/newmoney

2003 年 6 月 30 日（水）
午前 12 時 1 分まで記事公表禁止

担当者：
Dawn Haley 202/874-3019
財務省造幣局

Rose Pianalto または Susan Stawick
202/452-2955
連邦準備制度理事会

Penny Kozakos 202/530-4887
*「紙幣に新しい色」*報道担当

事業体、銀行、および現金取扱い機器製造業者に新しい 50 ドル紙幣に向けた準備の最後の注意を促す

財務省および連邦準備制度が、より安全に、より洗練され、そしてより安心な 50 ドル紙幣を 9 月 28 日に流通開始すると発表

ワシントン—2004 年 6 月 30 日—米国政府は本日、青色と赤色の微妙な背景色が追加され、風になびくアメリカ国旗と光沢のある青みがかった銀色の小さな星が描かれる新デザインの 2004 年シリーズ 50 ドル紙幣を、9 月 28 日に発行する予定であることを発表しました。この発表当日に、連邦準備銀行は、商業銀行を通じて公衆に新しい紙幣の流通を開始します。

本日の 50 ドル紙幣の発行日の発表は、銀行や事業体に新しい紙幣に対して最終的な準備をすべきであるとの合図を送るものです。一部の事業体にとっては、準備にはこの紙幣の安全管理のための特徴を利用する方法について現金の取扱いにあたる従業員を訓練することなどが含まれる一方、他の事業体では、ATM（現金自動出し入れ機）や自動販売機や自動レジ機など現金受取機付きの機械に技術的な調節をする必要があります。

「このシリーズの紙幣で安全管理のための特徴が改善されたことで、世界中の人々から信頼・期待を集めてきた米国貨幣が、今後も確実に信頼、価値、自信を代表し続けるのに役立ちます。」と、連邦準備制度理事会のマーク・W・オルソン（Mark W.

Olson）理事長は語ります。「毎回そうであるように、全ての新しい紙幣は、古いデザインの紙幣と一緒に流通されます。全ての紙幣は永遠に有効です。」

「新しい通貨プログラムの目的は、貨幣をより安全に、より洗練され、より安心なものにすることと、それを日常的な商業にスムーズに導入することです」と、財務省造幣局（BEP）トム・ファーガソン（Tom Ferguson）局長は語ります。「そのために、我々は、該当する機械製造会社と過去 2 年近くにわたり協力し、各社が新しく流通される新デザインの各紙幣に対応する装置を製作するために必要な情報を提供してきました。」

新デザインの 50 ドル紙幣は、2004 年シリーズの新しい通貨デザインとしては二番目です。新デザインの 20 ドル紙幣は、2003 年 10 月に発行されました。新デザインの 100 ドル紙幣も、発行が予定されています。10 ドルおよび 5 ドル紙幣の新デザインに関する決定はなお検討中ですが、1 ドルおよび 2 ドル紙幣の新デザインは予定されていません。

広報活動

改善された安全管理のための特徴は、一般の人々に知ってもらうことで、より効果的なものになることから、米国政府は、広範にわたる世界的な広報活動プログラムに着手しています。このプログラムは、新しい貨幣が発表されることを世界中の人々に知らせ、また安全管理のための特徴を認識・利用してもらうようにするものです。その活動対象範囲は、現金取扱い者、商業従事者、事業体、業界団体、報道機関にも及ぶものです。米国貨幣は、世界中で約 7,000 億ドルが流通されており、その 3 分の 2 相当が米国国外にあります。

ポスター、研修ビデオ、パンフレットなど各種研修資料が 24 の言語で用意されています。資料は、www.moneyfactory.com/newmoney からダウンロードまたは注文することができます。

財務省造幣局（BEP）が、2003 年 5 月に注文の受付を開始して以来、事業体やその他の団体からの研修資料の注文数は 4,600 万部にのぼっています。この資料は、紙幣の改善された安全管理のための特徴に関して、現金取扱い従業員を研修するのに役立つものです。

紙幣に新しい色

消費者の方々は、本物かどうかを見分けるために、色を使わないようにすべきですが（その代わりに下記の簡単に利用できる安全管理のための特徴をご活用ください）、新しい色によって、紙幣に複雑さが加わり、偽造がより困難なものとなっています。異なった額には異なった色が使われます。これにより、一般の人々、特に視力障害のある方々にも簡単に金額を見分けていただくことができます。

安全管理のための特徴

新しい 50 ドル紙幣のデザインでは、1990 年代に初めて採用され、消費者にも商業従事者にも識別が簡単な重要な 3 つの安全管理のための特徴である透かし、偽造防止糸、およびカラーシフティング・インクが採用されています。

- *透かし*：紙幣を光にかざすと肖像画によく似た透かしがご覧いただけます。この透かしは紙自体に入っているもので、紙幣の両面からご確認いただけます。
- *偽造防止糸*：同じく紙幣を光にかざすと、紙幣の両面からご覧いただけるものですが、この縦方向に走る合成繊維の線は紙に埋め込まれており、額面金額が小さく描かれています。
- *カラーシフティング・インク*：紙幣の表側の右下の角にある数字は額面金額を表すものですが、紙幣を上下に傾けると、この数字の色が赤褐色から緑色に変化します。

偽造：進むデジタル化

安全管理のための特徴の改善と、積極的な法執行や紙幣をチェックする方法についての広報活動との組合せによって、偽造は低いレベルに抑えられてきました。連邦準備制度理事会によれば、50 ドル紙幣 25,000 枚につき 1 枚が偽造紙幣とのことです。

ところが、1995 年以来、米国内で見つかった偽札全体にしめるデジタル機器による偽札は、1 パーセントから 40 パーセントに増加しています。技術の進歩によりデジタルによる通貨の偽造がより簡単で安価にできるようになりつつあることから、偽造者の一歩先を行くために、政府機関は、7 年から 10 年ごとに貨幣の新デザインの導入をする予定です。

-###-